

# 令和4年度自然保育推進事業 活動報告書

## 1 福山市立郷分幼稚園

### 2 今年度の活動概要

#### (1) 体験活動について

本園は、市の中心部より少し離れた田園地帯に位置し、東に芦田川、西に萱野山があり自然環境に恵まれています。本園には子ども達が身近な自然によくかかわり、季節を感じながらのびのびと遊ぶ姿があります。また、地域にある唯一の公共施設であるため、田植え、稲刈り、栗ひろい体験など、地域の方からたくさんの協力を得ています。春は土手のつくし採りやいちご狩り、段ボール土手すべり、夏は虫捕りや野菜の収穫、秋は木の実ひろいやイチョウの落ち葉ひろい、冬は森遊びや氷遊びなど四季折々の体験をしてきました。

1年を通して豊かな自然環境を活かして、「じっくり、ゆったり、たっぷり遊ぶ」子どもの姿があります。



#### (2) 特に印象的だった遊びの事例

#### 5月 さくら組 やりたいことい〜っぱい！



今年はいちごの実が大きくなっても青いうちに何者かにとられていることが続き、みんなでいろいろ考えた結果、網で守る方法をやってみることに。幼稚園にあった木をみんなで順番にノコギリで切り、スコップで穴を掘って木を立て、網を張って完成！



#### ひみつ基地づくり

涼しいなあ。このテーブルに何置く？



#### 泥水遊び

はだしは気持ちいいな。こことろとろとるよ！



今日は曇り空。遊戯室で遊び始めた子どもたちが「何だかお化け屋敷みたいに暗いね…そうだ！前のさくら組さんみたいにお化け屋敷を作ったらいいんじゃない？」ということになり、お化け屋敷作りが始まりました。



2週間以上お化け屋敷作りは続き、どんどん進化していきました。そのうち自分たちだけでなく、ちゅうりっぷ組さんや先生たちを招待したいということになり、チケットが配られました。ちゅうりっぷ組さんたちは怖いやら、楽しいやら…そのうちちゅうりっぷ組さんたちもさくら組さんを真似て、おばけのお面を作り、毎朝おうちからかわいいおばけが車に乗って幼稚園に来るようになりました。



5月 ちゅうりっぷ組も やりたいことい〜っぱい！

ちゅうりっぷ組さんでは、キャンプごっこが始まりました！子どもの声を拾いながら、先生たちがテントを用意するとお料理やBBQが盛り上がり、ランプ作りまで始まりました。



お風呂気持いい！

今夜のおかずのさかなをゲットだぜ！

これペットボトルで作ったランプです！

もう焼けたかなあ。大丈夫そうよ！

あおむしを見つつけ飼うことに。食べるものや世話の仕方を調べ、さなぎになって蝶になることを知りました。毎日観察するうちにきれいなきれいな蝶になったところを見ることができました？

6月 田植えをしてみたい！お願いしよう！

今年は畑のいちごや夏野菜を植えるのと同時に5月から田んぼの様子を見ていた子どもたち。田んぼに水がはられると、カエルたちもやってきて、もう入りたくてしょうがない様子！前のさくらさんみたいに「ごはんになるのを植えた〜い」ということで小野田さんにお手紙を書きました。子どもたちのために、田植えが済んだあとの田んぼに今年も小野田さん、壇上さん、岩佐さんにお手伝いいただきながら、田植えの体験をさせていただきました。泥水遊びもたっぷりやっていた子どもたちは、田んぼに入るのもヘッチャラ！もちろんカエルもつかまえました？



なんか幼稚園の土よりヌルヌルしとるなあ

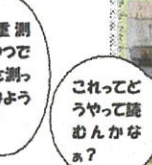
うわあ！足が抜けくったあ？

ちゅうりっぷ組さんもはだして入るの大丈夫そう？

みんな植え方がさまになってる感じ！

## 10月7日(金) 栗ひろい

今年はいにくの雨で、栗林での栗拾いはできませんでしたが、遠藤さんが子どもたちのためにイガグリを幼稚園まで持って来てくださり、テラスで栗の実の取り方を体験することができました。



足で踏んでイガグリを開いて、火ばさみで実をとるよ。

体重測るやつで重さ測ってみようや！

これってどうやって読むんかなあ？



さくらさん、どうやって取ってるのかなあ

遠藤さんみたいにやってみる！

みんな上手だね！

並べるのたいへんじゃ、一体何個くらいあるんじゃろう？

教えてみよう…  
1、2…247…

## 10月18日(月) 稲刈り

秋晴れの中、小野田さんの田んぼで子どもたちが田植えをして育った稲を刈らせていただきました。今年にはさくら組とちゅうりっぷ組両方のクラスが参加でき、鎌で稲を刈るという貴重な体験ができました！



大きくもってる！田植えをした時は緑色だったけど、今は黄色くなって、お米もくっついてるよ！

稲を束を持って鎌は手前に引くんだよ！

さくら組さんは、稲刈りを家庭で経験した人もいて、コツをつかんでしょうずに刈っています！ザクッ！

小野田さんの刈り方は一気にザクッ、すごいなあ！



ちゅうりっぷ組さんは、初めて鎌を持ちましたが、小野田さんのお話をよく聞いて、安全に鎌を持つことができました！

ドヤァ！

刈り取れた稲がコンバインの中をぐるぐるまわっていてもお米がどれ、玄米に変わっていくところです。子どもたちは、稲があつという間に刈られ、機械の中を走っていく様子や上の所についているパイプのようなものがどうなるのかなど次々疑問が湧いて、質問攻めですが、小野田さんは丁寧にわか叫びやすく説明をしてくださいました。

## 12月 落ち葉っぱ〜い！ 何して遊ぼう



## 12月 森遊び 最高！

森のくまさんこと自然保育アドバイザーの関口先生！早速園庭で見つけたひつぎもつぎを取ってきて、子どもたちを夢中にさせてしまいます！



### 3 身近な自然とのかかわりのなかで

本園には、園庭にも園を取り巻く地域にも豊かな自然が溢れています。その環境を子どもたちは遊びの材として取り入れ、様々な発見や思考をしながら学んでいます。森遊びをはじめ身近な自然の中には、自発的にしかも夢中になって学べる材がぎっしり詰まっています、おとなのする役目はそれを邪魔せず、安心して遊べるための支援を行うことと考えています。子どもが「学ぶ」ということの本質的な意味が自然保育の中にあると捉え、今後も身近な自然の中から「子どもが学ぶ」環境を保障し、義務教育への学びにつなげていきたいと思ひます。